

国労本部電送No.183	発信日	発信	責任者	受領者
	2023年3月17日	業務部		

<貨物会社 2023 春闘回答速報>

貨物会社「定期昇給は実施し、ベアについては昇給前基本給に

定率 0.1% を乗じた額(平均 300 円) + 700 円を加える」

「シニア社員のベアについては定額 1,000 円を加える」と回答！

本日(3月17日19時15分)、貨物会社は「2023年4月1日以降の賃金引き上げに関する申し入れ(国労闘申第7号)に対し、「ベアについては、昇給前基本給に定率0.1%を乗じた額(平均300円)+700円を加える」(①100円未満を切り上げ、②初任給、年齢保障給、基準額を含む昇給表も引き上げ)「シニア社員のベアについては定額1,000円を加える」との回答を行った。

会社は「今年度は「JR 貨物グループ長期ビジョン 2030」で掲げる持続可能な社会の実現に向け、「JR 貨物グループ中期経営計画 2023」の下、収支改善に向けた取り組みの継続とともに、利益拡大等の諸施策を推進してきたが、日本経済は、前年度に続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う景気停滞を余儀なくされ、コロナ禍前の輸送量に比較して10%減で推移した。

輸送動向は昨年8月の北海道・東北・北陸の大雨や昨年12月の新潟地区を中心とする風雪害などの自然災害の中で、社員の皆さんの協力の下、収入確保に努めて頂いたことに感謝している。この間の物価上昇や社員の生活向上も考慮し、今後の奮闘に期待し総合的に考えた上で、今年度については「定期昇給を実施するとともに、2023年7月1日現在(昇給前)上の基本給に、定率0.1%を乗じた額(平均300円)+700円を加える」(①100円未満を切り上げ、②初任給、年齢保障給、基準額を含む昇給表も引き上げ)「シニア社員のベアについては定額1,000円を加える」との回答を行った。

これに対し本部は、

- ① . 今回の回答は、2年連続のベアの実施や賃金改善措置も実施されてきたが、一昨年は再び「ベア・ゼロ」回答、昨年は「基本給に定率0.1%を乗じた額」として社員間の格差を助長するなど、自然災害やコロナ禍による減収を社員に転嫁したものでしかない。
- ② . この間の2年連続鉄道事業部門の黒字化達成やJR発足以来最高の経常利益を上げてきた経営状況、また、来年度事業計画も2019年度に近付けようとする計画の下で、物価高騰により疲弊している社員と家族の厳しい生活実態を顧みないものでしかない。
- ③ . コロナ禍の下、昼夜を問わず懸命に働く社員に正当に還元しない姿勢は、日々安全輸送を最前線で支える社員感情を逆撫でするものであり、若年退職が今なお続く今日の状態から、経営責任を果たしているとは到底思えないと強く抗議した。

これに対して会社は、「貴側からの抗議については受け止めるが、本日の回答は最終回答である」と重ねて表明した。

最後に本部は、「東日本大震災から12年が経過したが、会社は2010年以降、10年にわたり経常利益を確保し、内部留保を積み増してきた」とした上で、「減収の要因は明確であり、実質賃金が低下し続けている社員に更なる犠牲を転嫁して乗り切る経営姿勢は絶対に認められない」と改めて抗議し、本日の回答の取り扱いについては「持ち帰り」とし交渉を終了した。

本日の貨物会社の低額ベア回答に対して、別途、発せられる闘争指示に基づき、抗議と要請行動の展開を要請する。

なお、オープンは20時15分であり、取り扱いは注意すること。

以上